



各校の図書委員が活動発表した交流会

「語り部企画」を行った。インスティチュートは、那北は教員にテーマを決めて語つてもう一度、伊那工業はオーディオ・ビデオの展示を記念して、周年の駒ヶ根工業はオーディオ・ビデオの展示を行った。

上伊那高校図書館協議会（会長・福田浩一駒ヶ根工業高校校長）の第2回生徒研究会は12日、伊那市伊那公民館で開いた。上伊那地方の公立8校の図書委員ら約25人が参加。上伊那の高校生が選ぶ読

書大賞」の座談会や最終選考、活動交流を行った。大賞作品の発表や各種表彰式もあった。

活動交流では各校の図書委員が、図書館利用や読書を活用化させるための工夫を発表した。「朝の読書」25周年の駒ヶ根工業はオーディオ・ビデオの展示を行った。インス

図書委員が活動発表

上伊那高校図書館協議会 生徒研究会

タグラムを使った情報発信やビブリオバトルの成果を披露する学校もあった。生徒研究会は昨年の第2回以降オンライン開催が続き、各校の図書委員の代表が対面で交流するのは久しぶりだった。事務局校として協議会副会長を務めた増澤充城さん（18）＝駒ヶ根工業3年＝は「人數が多いときはオンラインだと意見交換が難しい。会場に集まって開催できたので意見も出しやすかつた」と振り返った。

読書大賞の今年度のテーマは「スポーツ」で、7月の研究会で絞り込んだ6作品の中から、『2・43清陰高校男子バレーボール』（壁井ユカ）（集英社、集英社文庫1、2）を選んだ。講評で福田会長は「スポーツをテーマに小説のだいご味に触れてもらえたと思う」と話した。

長野日報

Nagano Nippo

ご購読ありがとうございます

12月17日（金）

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000代

©長野日報社 2021